

タンゴ特別公演『Tanguissimo 2018』開催

保坂庄司

9月30日（日）渋谷区さくらホールにて、究極のタンゴショー『Tanguissimo 2018』とのタイトルのもと、アルゼンチンと我が国を代表するタンゴ楽団とタンゴダンサーの公演が開催されました。

当協会ではタンゴコンサートを120周年記念事業のメインイベントの一つに捉え、早くから企画等の協議を重ね、主催者にラテンアメリカ音楽の公演開催実績豊富な株式会社ラティーナを得て、アルゼンチン大使館他と共に後援者としてその開催を全面的にバックアップして参りました。



アルゼンチンからは当代随一のタンゴ楽団と世界的人気のコロールタンゴが招かれ、我が国からはそのタンゴ界を牽引するバンドネオン奏者小松亮太のキンテートが出演、併せてタンゴダンス世界選手権の歴代チャンピオン3組が参加する、正しく日亜関係120周年を祝うに相応しいタンゴの大祭典が設えられました。

小松亮太とロベルト・アルバレス、コロールタンゴの豪華な共演

当日はアラン・ベロー・アルゼンチン共和国大使と山本幸三自民党日亜友好議員連盟会長、遠藤信博当協会会長、永井慎也同理事長をはじめ、昼・夜公演を通じておよそ一千名の観客が来場、その中に多くの当協会会員の姿がありました。

開演にあたり、ステージ上段のスクリーンにベロー大使による祝辞ビデオメッセージが上映され、120周年の祝意と本公演への期待が述べられました。

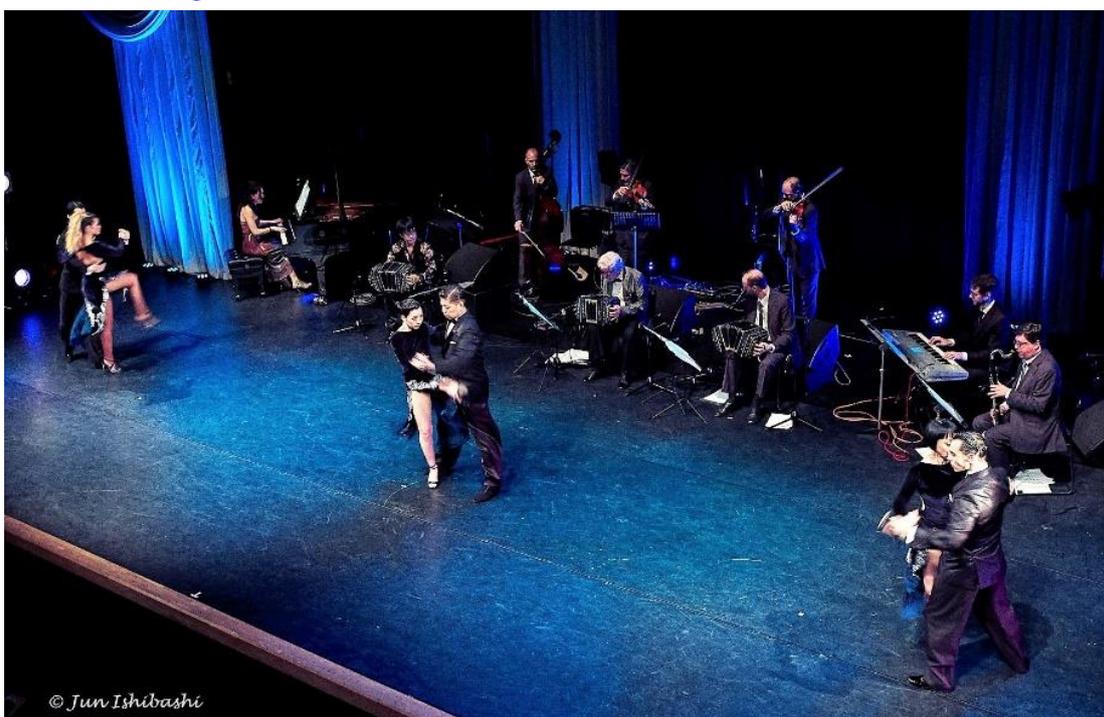
公演の第一部は小松亮太キンテートが、そして第二部はコロールタンゴが演奏、幅広い年代の観客に応じて多数の楽曲が奏でられました。

第二部のコロールタンゴは、アルゼンチンタンゴのレジェンドたるオスバルド・プグリエーセの楽団のDNAを受け継ぐロベルト・アルバレスが率いており、彼のバンドネオンがリードするリズム感溢れるエネルギッシュな演奏は観客を魅了しました。

終盤4曲には小松亮太も加わり、日亜のバンドネオン・トップ奏者による豪華共演となりました。夢の共演に亮太が感激しロベルトが呼応するステージ上のドラマは印象的なものがありました。

又第一部と第二部を通じて繰り広げられた3組の世界チャンピオンダンサー達によるタンゴダンスの競演や群舞は、躍動的で且つ情感あふれる圧巻のステージで、本公演の贅沢さを示すものでした。Hiroshi & Kyoko, Chizuko & Ezequiel そして Agostina & Axel の3組共、日本人或いは日系人が加わったペアであることも、タンゴ文化を共有する日亜両国の絆の強さを象徴していると思われます。

Elegante! 世界チャンピオンダンサーと日亜トップ演奏家のコラボ



公演当日は生憎大型台風24号の接近により、JRが首都圏各線の運行停止を予告発表するなど異例の一日となりました。昼の部はほぼ予定通りでしたが、夜の部は運休等の懸念が強まる中、来場を断念したり来場しても止むを得ず途中で帰宅する方が多数居られました。

それでも大型台風の影響懸念をよそに多くのファンが最後まで鑑賞、満場熱気を帯びたオートラ、オートラの声に、アンコールはプグリエーセ作曲の『レクエルド』が演奏されました。当協会会員の多くが遠く遙けき国アルゼンチンのゆかりの人々や彼の地での過ぎし日々に想いを馳せたことと思われます。

そしてタンゴの魅力を満喫しながら終演を迎え、次回公演を心待ちにする声が多数聞こえていました。

(ほさか しょうじ：当協会常務理事)